

目的：妻の育児における不安や悩み等は、夫の家事・育児への参加状況や夫の妻の育児の育児状況の理解によって軽減されることが報告されている。そこで、夫とのコミュニケーションや信頼関係のあり方が妻の育児不安の軽減と関係しているかどうかを明らかにすることを目的に本研究が実施された。

方法：地方都市とその周辺の町村の保育所4カ所の保護者(夫婦) 320組を対象として、質問紙調査を実施した。実際の夫婦の資料がペアで回収されるよう一つの封筒に双方の質問紙を同封し配布回収を行った。双方の資料が揃っている218組について結果の分析考察を行った。質問内容は、育児不安や悩みの程度、これらを訴えたときの夫が取った態度、8の行動の相手(信頼関係)、夫婦でともにする行動(コミュニケーション)等妻11項目夫8項目からなっている。本報告では、妻の結果を中心に報告する。

結果：1)対象者の概要は、7割が30代、常勤者4割、拡大家族6割、子どもの数2人47% 3人以上34%である。2)コミュニケーションを場と時間の共有という面から捉えたところ、ほぼ毎日共有しているのは、夕食とテレビ(VTR)視聴であった。3)妻と一緒にいて安心しまた心から信じられる人として夫をあげている。4)しかし、自分(妻)を最も必要とし、その人のためなら出来るだけのことをしてあげたい人としては子どもをあげている。5)買物・食事の準備と片付け・夕食・ドライブを夫婦で共有している(コミュニケーションがとれている)妻は育児の不安や悩みの程度が有意に低い。6)夫と信頼関係を持てている妻は、子育てへの理解や圧迫感が有意に軽くなっている。